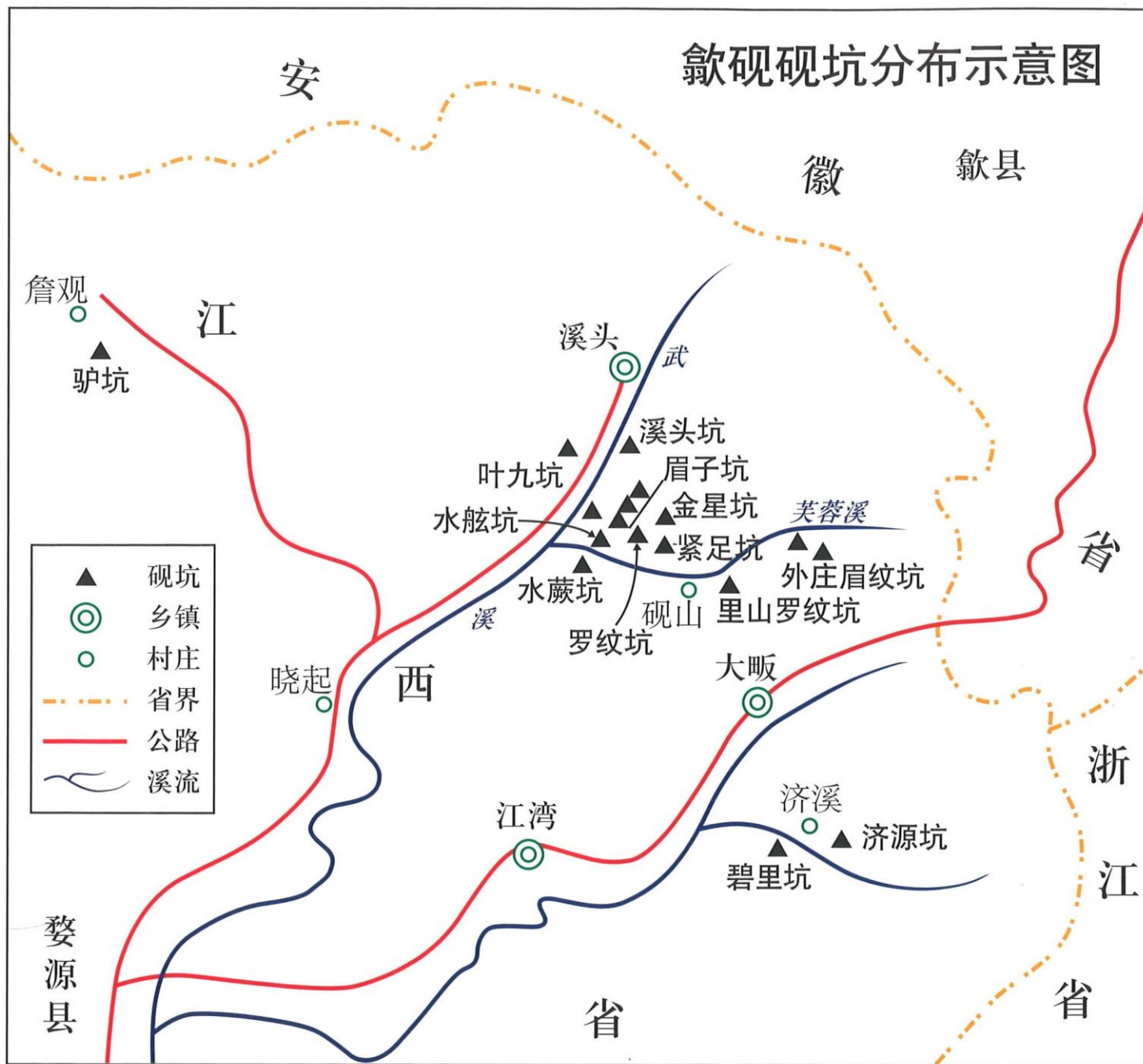


# 歙砚坑分布示意图





■ 右上が山坑  
右下が水坑



■ 旧水坑坑口(水舷口)

■ 硯材の管理扉と警備員



■ 1990年ブ源の硯工場  
製硯作業



■ 水船坑

■ 山坑(眉子、金星)

■ 水蕨坑(すいけつこう)



■ 硯山村風景



■ 2000年頃硯山村



■ 水坑跡はくず石で埋められた



■ 硯のカット工房



■ 村中の人で掘り出した特大原石



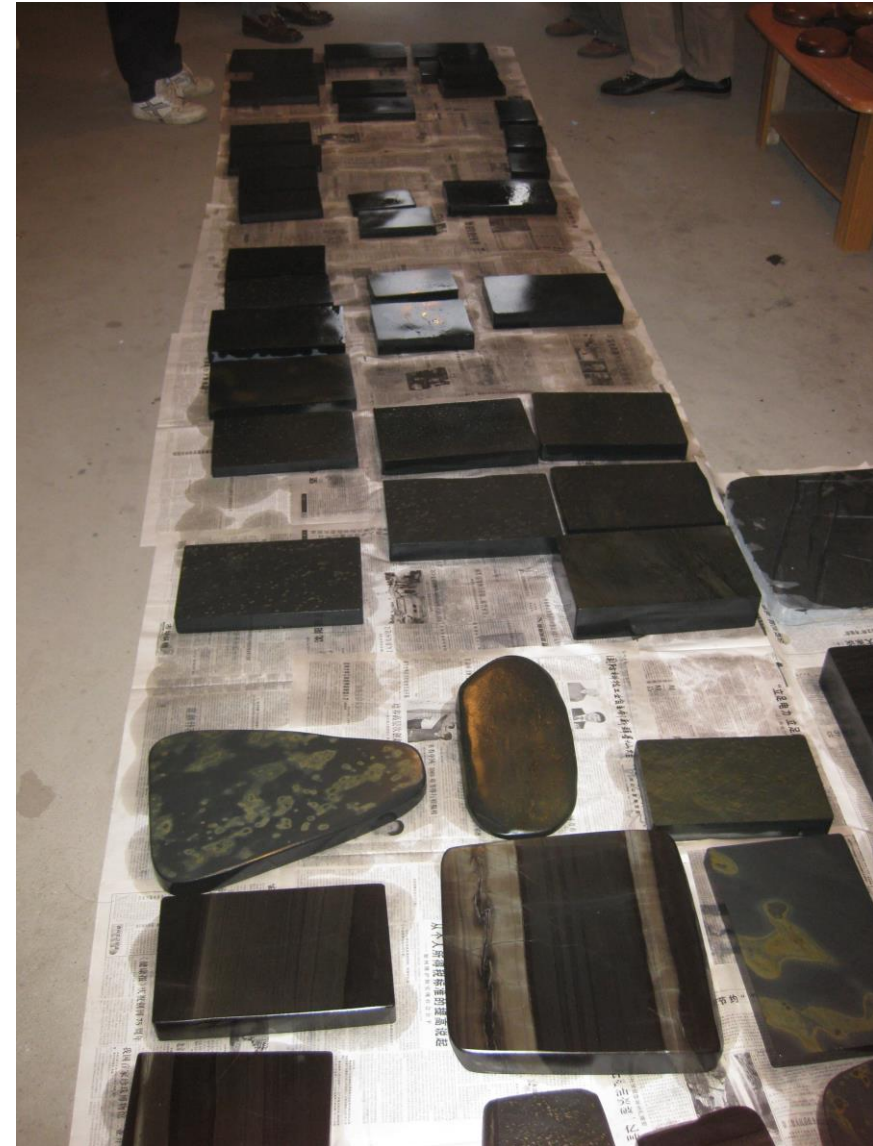
■ 歙州硯の選別と仕入  
村中から硯を一か所に集めて選別



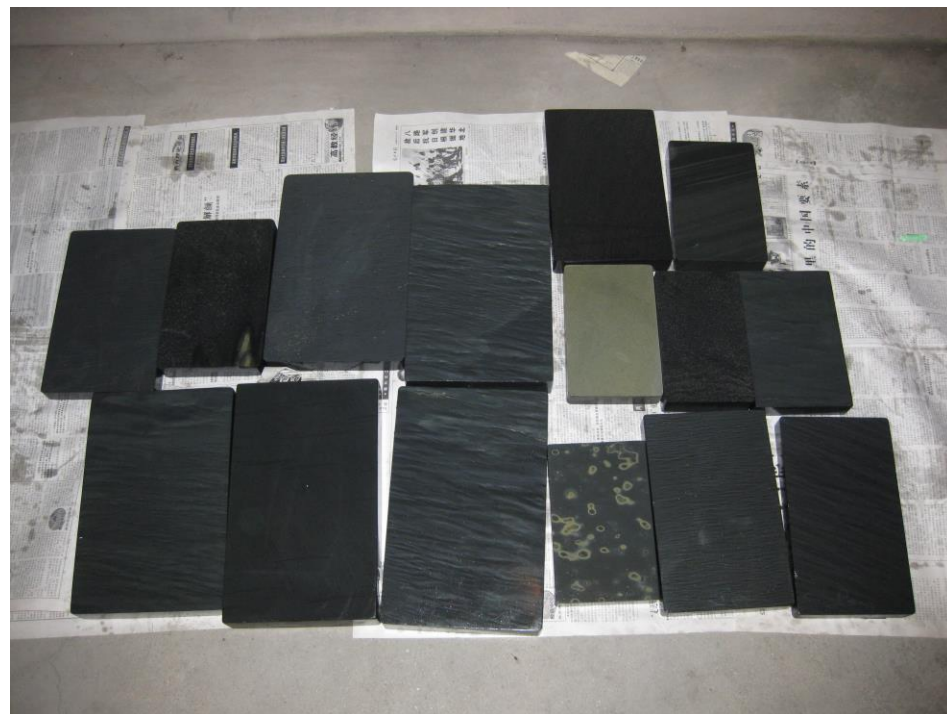


■ 変形や特大はカットしてもらいます

■ 価格を交渉して札を貼る



■ 選別品



- 昼頃から選別購入すると終わりは夕刻  
ここから景德鎮まで戻る(約2時間)





- 歙州の製硯作業は基本的に端溪と同じ  
但し端溪より硬い石質なので  
細かい彫刻はあまりできない



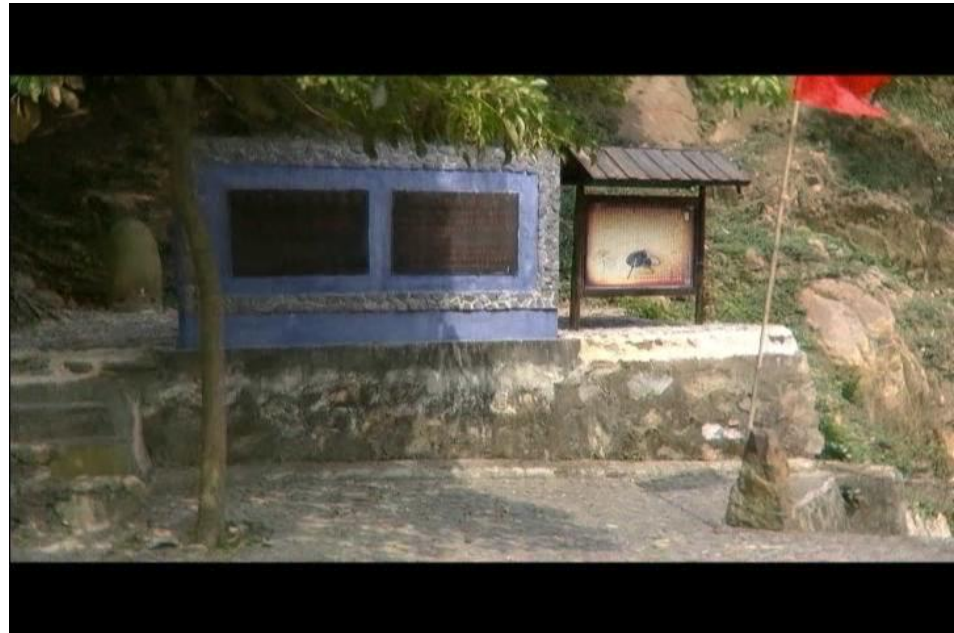
## ■ 最近の硯山村



■ 前の道は舗装され、みな3階建ての豪邸



■ 坑口下流の川底をパワーショベルで掘り出し、その場で青空市場が開かれています



■ 現在テーマパークとなった端溪産出の地



■ 旧老坑の坑口





■ 鑿とハンマーのオブジェ



■ 2015年東京オークションにて







ロットナンバー #2095

ハンマープライス	80,000,000円
+ 15%手数料	12,000,000円
手数料 税 8%	960,000円

---

計 92,960,000円

---

■ 沈氏研林 二玄社